

國學院大學学術情報リポジトリ

《研究会記録》令和二年度共存学公開研究会「東日本大震災被災地の復興活動十年を振り返る：
～震災復興と伝統文化、福島十年の総括と今後～」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001093

《研究会記録》

令和二年度共存学公開研究会

「東日本大震災被災地の復興活動十年を振り返る

～震災復興と伝統文化、福島十年の総括と今後～」

本記録は、令和三年二月六日（土）、Zoomによるオンライン開催にて実施した、令和二年度共存学公開研究会「東日本大震災被災地の復興活動十年を振り返る～震災復興と伝統文化、福島十年の総括と今後～」の発題・コメント・総合討議の内容を編集し、論旨を変えない範囲で加筆修正を行なったものである。なお、同研究会は、本センターにおける令和二年度研究事業「伝統文化・神社・地域と共存社会の研究」の一環として開催したものであり、その開催趣旨は、東日本大震災から十年を迎えるにあたり、被災地における復興活動十年を振り返るとともに、福島県の震災復興と伝統文化との関係性や、復興活動十年を総括し、今後の課題や論点を抽出することにあった。あわせて、これまでの「共存学」による被災地復興調査の成果等も交えながら、議論を深めることを目途として実施した経緯がある。

当日は、はじめに古沢広祐氏（國學院大學研究開発推進機構客員教授）による「開会のあいさつ」、茂木栄氏（國學院大学神道文化学部教授）による「開催趣旨」を頂いた上で、各発題者からの個別報告を頂いた（所属・肩書は開催当時、以下同）。発題者は、平本謙一郎氏（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構企画事業部事業課

東日本大震災・原子力災害伝承館アテンダント、元岩手県復興局震災津波伝承課東日本大震災津波伝承館解説員）、懸田弘訓氏（元民俗芸能学会福島調査団団長）、上西律子氏（NPO民俗芸能を継承するふくしまの会会員）、山名隆弘氏（福島県いわき市・大國魂神社宮司）の四名である。その後、茂木栄氏、黒崎浩行氏（國學院大學神道文化学部教授）からのコメントを頂き、古沢広祐氏の司会による総合討議が行われた。その詳細については、本記録の内容をご覧ください。

なお、本記録を掲載するにあたり、事務局にて編集した内容をご発言頂いた皆様にご確認頂き、加筆修正等を頂いた。この場をお借りして、当日ご登壇頂いた皆様、そして会場にお越し頂いた参加者の皆様一人ひとりに深く御礼申し上げます。

◇公開研究会記録（所属・肩書は開催当時。敬称略）

令和2年度共存学公開研究会「東日本大震災被災地の復興活動十年を振り返る～震災復興と伝統文化、福島十年の総括と今後～」

主催 國學院大學研究開発推進センター研究事業「伝統文化・神社・地域と共存社会の研究」

日時 令和三年二月六日（土）十四時～十七時四十五分

場所 Zoomによるオンライン開催

【第一部 個別報告】

- ・ 報告一 Ⅱ 平本謙一郎（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構企画事業部事業課東日本大震災・原子

力災害伝承館アテナント、元岩手県復興局震災津波伝承課東日本大震災津波伝承館解説員）

「東日本大震災被災地における復興支援と震災伝承の取組み」

- ・ 報告二 Ⅱ 懸田弘訓（元民俗芸能学会福島調査団団長）

「福島県の震災復興と民俗芸能」

- ・ 報告三 Ⅲ 上西律子（NPO 民俗芸能を継承するふくしまの会会員）

「民俗音楽研究の立場から福島県被災民俗芸能の復興に取り組む」

- ・ 報告四 Ⅲ 山名隆弘（福島県いわき市・大國魂神社宮司）

「福島県浜通り地方の復興過程における神社・神職の取組み」

【第二部 総合討議】

- ・ コメント一 Ⅱ 茂木 栄（國學院大學神道文化学部教授）

- ・ コメント二 Ⅱ 黒崎浩行（國學院大學神道文化学部教授）

- ・ 司会・進行 Ⅱ 古沢広祐（國學院大學研究開発推進機構客員教授）

※本記録の編集作業は、宮本誉士（國學院大學研究開発推進機構教授）、半田竜介（國學院大學研究開発推進機構助教）、

小山田江津子（國學院大學研究開発推進機構客員研究員）、佐野和子（國學院大學研究開発推進機構臨時雇員）が担当した。